

6/1(木) 市内の観光の活性化に 地域おこし協力隊就任式

本市では「地域おこし協力隊員 観光事業総合プランナー」の募集を行い、竹林健一さんが就任し、この日、委嘱状が交付されました。

竹林さんは産業部交流観光課へ配属され、今後、本市の自然やアクティビティを生かした観光体験メニューの開発、素材のクオリティ向上や地場産品の開発やPRなどを行い、市内の観光の更なる活性化に尽力します。活動内容は、広報誌のつむぐ通信などで発表していきます。



▲委嘱状を受け取る竹林健一隊長

6/6(火) 西条農業高校×江田島オリーブファクトリー 極上豚のポマスハムを高校生がPR

ポマスというオリーブの搾りかすを西条農業高校が山本倶楽部(株)から提供を受け、同校が飼育する豚に飼料として食べさせたところ、豚の精肉として「極上ランク(全国格付割合0.7%)」として評価されました。

極上肉のハムを「ポマスハム」と名づけ、同校の生徒さんが豚の説明を店頭で行うため、江田島市へやってきました。生徒さんからは「オリーブが縁となり、初めて江田島市にきました。ポマスハムとオリーブオイルの相性は抜群です。」と語ってくれました。



▲極上豚のポマスハムをご賞味あれ！

5/19(金) G7 広島サミット PRコーナーでオリーブを展示

広島県立総合体育館に設置された国際メディアセンター(IMC)で、オリーブの展示を行いました。フィギュアスケートの国際大会でも使用された「オリーブ冠」をはじめ、江田島産オリーブを使用した「オリーブオイル」を展示し、海外メディアに向けてPRを実施しました。



▲実際の展示の様子

6/16(金) 中学生ができる地域貢献を考え、WEBアンケートを実施中!!

能美中学校3年生は、総合的な学習の時間で、「江田島の発展を目指した、自分たち中学生ができる地域貢献」とは何かを考え、実際に江田島市に貢献するための取り組みを企画しています。活動のなかで、江田島市について、知らないことが多いという課題があがり、江田島市内の多くの方々から中学生に求めている地域貢献は何か？江田島市の発展のために何ができるのか、情報収集を行うことになりました。目的に合った効果的な調査方法はないか検討し、アンケート調査を行うことにしました。みなさん、ぜひアンケートにご協力してください!!アンケートは右下のQRコードから7月31日頃まで回答いただけます。



▲アンケート内容を相談する生徒



アンケート QRコード

5/24(水) 果樹生産の新たな担い手に えたじま果樹農業塾開講

江能地域果樹振興対策会議(事務局:JAひろしま)が、江田島アグリセンター(大柿町飛渡瀬)でえたじま果樹農業塾開講式を行いました。

これまでに、延べ270人以上が受講しており、今年度は23人が入塾しました。受講生は、1年間講義や実習を通じて柑橘類、イチジクなどの果樹栽培の基礎を学びます。JAひろしまの大下常務理事から、「農業塾で学び、果樹の担い手として、産地を牽引してほしい」と激励があり、塾生は「農業塾でしっかり学び、産地を盛り上げていきたい。」と意気込んでいました。



▲激励の言葉を述べる大下常務理事

6/4(日) 食を通してお互いを知ろう! 縁づくりフェスタ 2023 を開催

多文化共生をテーマに母国の食文化を通してお互いを理解し合い、交流することを目的に宮ノ原交流プラザグラウンドおよび交流プラザ2階を会場とし、隣保館と宮ノ原まちづくり協議会と共同主催で、第2回縁づくりフェスタ2023が開催され、約250人の来場者で賑わいました。多文化共生セミナー、料理の販売やザンビア、フィリピン、バングラデシュの方の演奏や踊りの披露など、終日賑わいました。



▲ザンビアの太鼓演奏の様子

6/8(木) 青少年の健全育成の場に 江田島市柔道クラブ稽古激励会

海上自衛隊第1術科学校の体育教官を勤める前濱憲一郎さん(広報えたじま4月号P24詳細掲載)が、市武道館で週1回の柔道教室を始めました。呉地区柔道連盟所属の「江田島市柔道クラブ」として、市内の子どもたちを中心に生徒を募集しています。この日は、1術校長、候校長、警察署長、しまの病院おおたに理事長、市長が訪れ、子どもたちの稽古に打ち込む姿を視察し、激励を行いました。

生徒の岡下恵鈴さんは『柔道の稽古は楽しい!好きな技は「大内刈」で、黒帯になれるように稽古を頑張ります』とインタビューに答えてくれました。

指導者の前濱さんは「稽古を通して心と体を鍛え、あいさつなど日常生活態度の大切さを伝えるとともに、後進の育成にも力を入れ、地域に貢献したい」と思いを話してくれました。

稽古日 毎週木曜日午後6~7時
問合せ ☎090-9509-2179

